音遊塾　塾頭
ミュージックファシリテーター

中山 佳樹さん（25）

ひと

夢中になって音と遊ぶ

「誰もが表現者として、自由に自分をさらけ出せる場を作りたい」と、つくば市内で和太鼓を通した市民の自己表現の場「音遊塾」を運営している。

茎崎出身の中山さんは、高校時代にバンド活動を開始。当時から「音楽で生きていきたい」という気持ちは強かったが、メンバーの就職で19歳のときにバンドは解散。バンド解散後、音楽での起業を決意し、NPOやIT企業で新規事業立ち上げなどの経験を積んだ。

バンドマン時代から日本の伝統音楽に興味をもち、和太鼓にも打ち込んでいた。

昨年の6月に和太鼓講師を始め、「参加者が和太鼓を習う教室という違っても、夢中になって音と遊ぶことで、感動やプロセスを分かち合える場所にしたい」と考え、9月に音遊塾の開設に至ったという。

「音遊塾では、自分も講師という立場ではなく、1人の塾生・場作り人〝よっちゃん〟として他の塾生の皆さんと同じ目線で、一緒に音遊の輪を広げていきたいと思っている。今後も音遊塾を、塾生一人一人の素直な気持ちを受け入れて、〝あなたがもっとあなたで在れるような場所〟にしていきたい」と展望を語ってくれた。

中山さんは、音遊塾の運営のほか「和太鼓ユニット音遊人（みゅーじん）」として、音楽活動も行っている。

自身の音楽活動については「日本人として生まれ育った特性を生かし、歌と和楽器を融合した新しいジャンルの音楽の創造にも挑戦したい」と意気込んだ。

（澤田悠太）

◆音遊塾は、市内で月2回の定期セッションを開講中。入塾に関する問い合わせは、公式HP（http://on-u-juku.org）まで。